

倉敷中央看護専門学校 自己点検・自己評価結果（令和3年度）

1. 目的

本校の看護教育の充実に向けて、自己点検・自己評価を行い、学校運営・教育活動の改善・維持・発展の活動を推進する。

2. 自己点検・自己評価の流れ

- 1) 厚生労働省「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」を参照し、本校の教育理念・目的等に沿って（125の視点）自己点検・自己評価の項目を設定する。

[9 カテゴリー]

- I 教育理念・教育目的
- II 教育目標
- III 教育課程経営
- IV 教授・学習・評価過程
- V 経営・管理過程
- VI 入学
- VII 卒業・就業・進学
- VIII 地域社会/国際交流
- IX 研究

- 2) 教職員が担当別に自己点検・自己評価し、自己点検・自己評価会議で結果の分析・改善点を明らかにする。

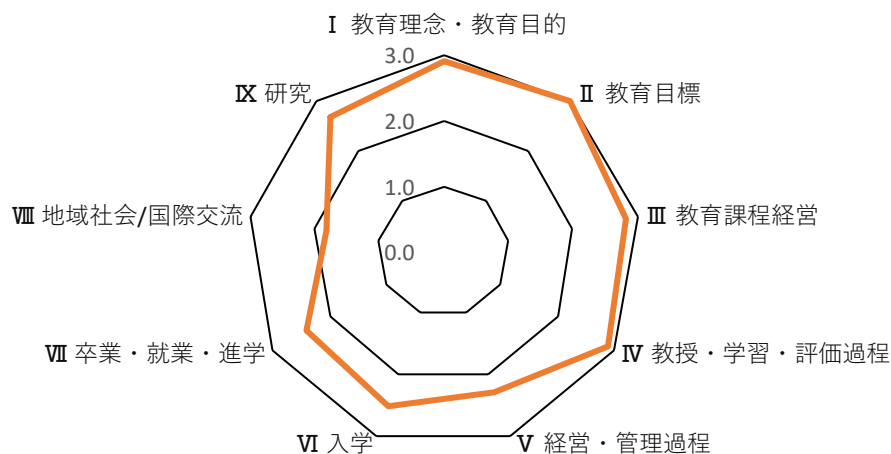
3. 令和3年度 倉敷中央看護専門学校 自己点検・自己評価結果

9 カテゴリー（67項目 125の視点）

評価基準 3（当てはまる）

2（やや当てはまる）

1（当てはまらない）



カテゴリー	評価点	概要
I 教育理念・教育目的	2.9	カリキュラム改正に伴い、教育理念に「懇切なる看護を实践できる看護師の育成」を明示した。理念を継承した看護師の育成をめざし、新たにディプロマポリシー (DP)・カリキュラムポリシー (CP)・アドミSSIONポリシー (AP) を策定した。
II 教育目標	3.0	教育目標に「科学的根拠に基づいた看護を实践する基礎的知識・技術・態度を養う」を追加した。学年目標を変更し、学生が自己評価しながら学びが進められるようにした。
III 教育課程経営	2.8	令和4年度から施行される新カリキュラムを構築し、申請・受理された。改正の主旨とカリキュラム評価を受けて、「地域・在宅看護論」の構築、根拠に基づいた看護実践のための科目の充実、看護技術教育の充実のためのシステム作りを重点的に行った。教育課程評価についての仕組み作りは課題である。COVID-19の影響はあったが、すべての教育課程は計画通り運営できた。
IV 教授・学習・評価過程	2.9	COVID-19の感染拡大に伴いオンライン授業や学内実習への変更を行い、オンラインでのグループワークや試験、実習が可能となった。学内実習では昨年度の評価を行い、実習目標が達成できるよう各領域の特徴に応じたシミュレーション教育等を行った。
V 経営・管理過程	2.3	授業料・施設設備費の改定を行い財政の安定に努めた。校舎改修移転後の1年点検を実施したが大規模な修繕点もなく、充実した学習環境での教育が継続できた。ニーズに応じた情報発信においては課題がある。自己点検・自己評価、学校関係者評価により教育活動の改善活動を推進し、結果の情報開示を行った。
VI 入学	2.5	COVID-19等、感染症への感染防止対策を講じて、募集活動と入学試験を安全に実施し定員が確保できた。出願者の減少要因・入学生状況を分析し、今後の募集活動・入学試験に反映できるよう取り組んでいく。
VII 卒業・就業・進学	2.4	COVID-19の影響はあったが個別面談・個別学習支援を強化し、国家試験合格率は100%であった。卒後の進路は、倉敷中央病院への就職93%、他院7%であった。
VIII 地域社会/国際交流	1.8	地域での「学童保育」「高齢者サロン」「母子サロン」などの活動に参加し、地域社会との交流の機会を持つことができた。
IX 研究	2.7	研究活動を行う際には、法人内の研究委員会や倫理審査委員会による助言を受けられる体制が整い取り組んでいる。

4.学校関係者評価委員会（令和4年6月8日）開催

1）学校関係者評価委員

鉄川 大健様：非常勤講師（担当：人間関係論、文化人類学）

吉岡 裕一様：社会福祉法人アミカル 特別養護老人ホームアミカル 施設長

高村 洋子様：倉敷中央病院 副院長 看護本部看護本部長

小野 直美様：倉敷中央病院 教育看護師長

片岡 浩子様：倉敷中央病院 看護師長

山野 陽菜様：卒業生

田村 蘭 様：卒業生

2) 委員からのご意見

- ・自己点検・自己評価結果に対しての指摘事項はなかった。
- ・ホームページについて、タイムリーに情報更新できるとよい。
- ・学生が目的をもって学べるようにシラバスを充実し、ホームページでの公表ができるとよい。
- ・学校評価や教育課程評価などの評価の時期・妥当性等の検討ができるとよい。
- ・入学試験の評価を行うことで、今後の募集活動に活かしてもらいたい。
- ・面接の機会が多いことや学生の縦のつながり強いことは、学校生活上での不安を軽減できている。保護者懇話会での情報提供も学校の状況が理解でき不安の解消につながっている。

5.おわりに

令和4年度は新カリキュラムが開始となります。カリキュラム評価の体制を整え、教育の質向上が図れるように努力してまいりたいと思います。

以上